

喜多流 狩野了一 能の会

第五回 きこ乃舎

ki no kai

能 定家

狩野了一

く 嘆くとも

恋ふとも逢はん道やなま

君葛城の嶺の白雲く

❖ 2024年6月22日(土)

午後2時開演 (午後1時開場)

❖ 銚仙会能楽研修所

東京都港区南青山4-21-29 Tel:03-3401-2285

おはなし 山中玲子  
（休憩）

番組

能

# 定家

後シテ(式子内親王の霊)  
前シテ(里女) 狩野 了一

ワキ(旅僧) 宝生 欣哉

ワキツレ(従僧) 大日方 寛

ワキツレ(従僧) 小林 克都

アイ(都千本の者) 高澤 祐介

大鼓 國川 純  
小鼓 観世新九郎  
笛 一噌隆之

## 入場料

### 全席指定

- 正面・脇正面 (段差に座椅子) 8,000円  
ベンチシート席(最後列) +1,000円
- 学生券 (25歳以下 脇正面のみ) 4,000円

〈チケット〉お申込み・お問合せ

3月21日(木)午前10時より発売開始

〈狩野〉

Tel: 090-2312-9499 (携帯)  
Fax: 03-3301-9788 (狩野宅)  
Mail: ryol\_kano@mac.com

〈喜多能楽堂〉

※ 窓口でのお取り扱いはございません。  
Tel: 03-3491-8813 (平日10:00~18:00)  
HP <http://kita-noh.com/ticket>

## へあらすじ

頃は初冬、北国からの旅僧(ワキ・ワキツレ)が京都・千本を訪れます。美しい夕景色を眺めていると、時雨が降ってきたため、近くの木下で雨宿りをします。そこに一人の里女(前シテ)が現れ、ここはかつて藤原定家の建てた「時雨の亭(ちん)」であることを教え、定家を申うように勧めます。里女はさらに旅僧を式子内親王の墓に連れていき、式子内親王と深い契りを結んだ定家が、死後も執心から「定家葛」となって今もなお石塔に絡みついていることを語ります。妄執の苦しみから救ってくれるよう頼むと、里女は自身が式子内親王の亡霊であることを明かして消え失せます。旅僧は所の者(アイ)から、定家と式子内親王の忍ぶ恋や定家葛についてのいわれを聞き、逗留して申うよう勧められます。旅僧が法華経を誦読していると、式子内親王の亡霊(後シテ)が墓から現れます。法華経の功德にて定家葛が解けて自由の身になったことを喜び、旅僧への恩から舞をみせますが、自身の醜さを恥じた亡霊は再び定家葛の絡みついた墓へと戻っていくのでした。

終演予定 午後4時50分頃

後見 塩津 哲生

中村 邦生

友枝 真也

地謡

佐藤 陽

内田 成信

大島 輝久

長島 茂

佐々木多門

友枝 昭世

塩津 圭介

金子 敬一郎

## 入場料

### 全席指定

- 正面・脇正面 (段差に座椅子) 8,000円  
ベンチシート席(最後列) +1,000円
- 学生券 (25歳以下 脇正面のみ) 4,000円

〈チケット〉お申込み・お問合せ

3月21日(木)午前10時より発売開始

〈狩野〉

Tel: 090-2312-9499 (携帯)  
Fax: 03-3301-9788 (狩野宅)  
Mail: ryol\_kano@mac.com

〈喜多能楽堂〉

※ 窓口でのお取り扱いはございません。  
Tel: 03-3491-8813 (平日10:00~18:00)  
HP <http://kita-noh.com/ticket>



■ 東京メトロ「表参道」駅下車  
(銀座線・千代田線・半蔵門線) A4 出口より徒歩3分。

鏡仙会 能楽研修所  
東京都港区南青山4-2-11-29  
Tel: 03-3340-1228